

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【公開番号】特開2009-222899(P2009-222899A)

【公開日】平成21年10月1日(2009.10.1)

【年通号数】公開・登録公報2009-039

【出願番号】特願2008-66211(P2008-66211)

【国際特許分類】

G 0 3 B 5/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 5/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光軸と直交方向に移動可能な防振用光学素子又は光軸と直交方向に移動可能な撮像素子を保持した可動部材と、前記可動部材を光軸方向に位置決めするボールと、前記ボールを光軸方向に位置決めする固定部材と、前記可動部材と前記固定部材の一方に駆動用マグネットを設け、前記可動部材と前記固定部材の他方にコイルと磁性部材を設けた駆動部と、前記固定部材に設けられた制限部と、を有する像振れ補正装置であって、

前記可動部材は、前記駆動用マグネットの吸着力により中心に保持され、前記可動部材は、移動時に前記駆動用マグネットの吸着力により前記光軸と直交する面での回転を第1の回転角以下に規制され、

前記制限部は、前記可動部材と当接することにより前記光軸と直交する面での前記可動部材の回転を第2の回転角で規制され、

前記第1の回転角は、前記第2の回転角よりも小さいことを特徴とする像振れ補正装置。

【請求項2】

請求項1に記載の像振れ補正装置を備えたことを特徴とするレンズ鏡筒。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

上記目的を達成するための本発明に係る像振れ補正装置は、光軸と直交方向に移動可能な防振用光学素子又は光軸と直交方向に移動可能な撮像素子を保持した可動部材と、前記可動部材を光軸方向に位置決めするボールと、前記ボールを光軸方向に位置決めする固定部材と、前記可動部材と前記固定部材の一方に駆動用マグネットを設け、前記可動部材と前記固定部材の他方にコイルと磁性部材を設けた駆動部と、前記固定部材に設けられた制限部と、を有する像振れ補正装置であって、

前記可動部材は、前記駆動用マグネットの吸着力により中心に保持され、前記可動部材は、移動時に前記駆動用マグネットの吸着力により前記光軸と直交する面での回転を第1

の回転角以下に規制され、

前記制限部は、前記可動部材と当接することにより前記光軸と直交する面での前記可動部材の回転を第2の回転角で規制され、

前記第1の回転角は、前記第2の回転角よりも小さいことを特徴とする。